①佛教大学の教員の養成に対する理念（目標）及び達成するための計画

○佛教大学の教員の養成に対する理念（目標）

本学は、「仏教精神により人格識見高邁にして、活動力ある人物の養成を目的とし、世界文化の向上、人類福祉の増進に貢献することを使命とする。」ことを建学の理念としている。また、大学の責務である「人材育成」を目的とし、「教育」「研究」「社会貢献」の三領域において、仏教精神に基づく多様な活動を行いながら、世界文化の向上と人類福祉の増進に貢献することを使命として、これを達成するために相応しい教育研究組織を設置している。

本学の教職課程の特色として、大きく２つ掲げる。ひとつは「本学の建学の理念はこれからの学校教育がめざす育むべき資質・能力に通ずる」、もうひとつは「学生が所属する学部学科の学びを学校教育で生かすことができる教員養成」である。これらを達成するために教員としての人材養成の目的を次のように掲げる。

【人材養成の目的】

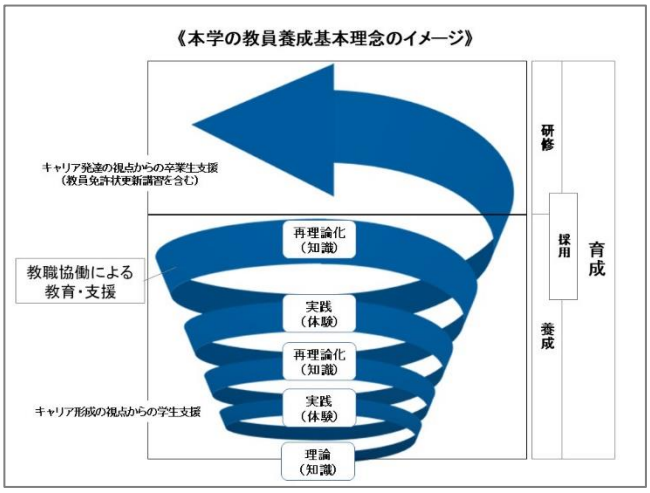
(1) 教員養成課程を柱として、教育現場における幼児・児童生徒の生活指導力、教科指導力、幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション力を有する人材を養成する。

(2) 個々の学習者の状況に応じて、必要な資質・能力を高める指導が可能な人材を養成する。

(3) 学習者の感情や思考を深く理解し、あらゆる教育の場面で冷静に判断・対処することができる人材を養成する。

(4) 学校、家庭、地域社会間の連携を深め、組織内での自身の役割の自覚と、組織全体の問題解決能力の向上に貢献することのできる人材を養成する。

なお、本学の教職課程教育への取り組みは、「教員の養成・採用・研修」の一本化の流れ（育成）を意識し、在学中のキャリア形成だけでなく、卒業後のキャリア発達の支援等にも重きを置き、学校教育現場で即戦力となる人材の育成に努めるとともに、どんなに社会情勢や時代が激変しようとも、それに対応できる教員の育成こそが本学の教員養成の使命であると考えている。



○達成するための計画

(1) 教職課程の履修指導

〔通学課程〕

通学課程では、各段階における到達目標に沿い、履修指導を行っています。

〔学部〕

履修年次		幼稚園・小学校・特別支援学校	中学校・高等学校
年次	時期		
1年次	前期	○仏教精神に基づく人間観を身につける。 ○大学での学修の基礎スキルと卒業（後）までの見通しをもつ。 ○教育学の基礎と教養を身につける。 ○教職の意義および教員の役割・職務内容を理解する。 ○教育の理念や歴史等を身につける。 ○教育の基礎理論を理解する。 ○保育内容・教科内容を理解する。	○仏教精神に基づく人間観を身につける。 ○大学での学修の基礎スキルと卒業（後）までの見通しをもつ。 ○教育の理念や歴史等を身につける。 ○中学校・高等学校の各教科内容を理解する。
	後期	○仏教精神に基づく人間観を身につける。 ○大学での学修の基礎スキルと卒業（後）までの見通しをもつ。 ○教育学の基礎と教養を身につける。 ○幼稚園の教育課程を理解する。 ○各教科内容を理解する。	○仏教精神に基づく人間観を身につける。 ○大学での学修の基礎スキルと卒業（後）までの見通しをもつ。 ○教職の意義および教員の役割・職務内容を理解する。 ○教育の基礎理論を理解する。 ○中学校・高等学校の各教科内容を理解する。
2年次	前期	○教育学の基礎を身につける。 ○幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教育課程を理解する。 ○保育内容、各教科・領域等の指導理論と指導法を理解する。 ○幼児理解、教育相談の理論および方法を理解する。 ○児童理解（生徒指導）、教育相談及び進路指導の理論および方法を理解する。 ○介護等体験の意義と役割および理論と実践を理解する。 ○特別支援に係る基礎理論と指導法を理解する。 ○特別支援教育領域を理解する。 ○各教科内容を理解する。	○中学校・高等学校の教育課程を理解する。 ○各教科・領域等の指導理論と指導法を理解する。 ○生徒指導、教育相談及び進路指導の理論および方法を理解する。 ○介護等体験の意義と役割および理論と実践を理解する。 ○中学校・高等学校の各教科内容を理解する。
	後期	○教育学の基礎を身につける。 ○保育内容、各教科・領域等の指導理論と指導法を理解する。 ○特別支援学校，社会福祉施設の現場で教師に必要なことを理解する。 ※「教育実習実施資格判定」における基準に到達する。	○各教科・領域等の指導理論と指導法を理解する。 ○中学校・高等学校の各教科内容を理解する。 ○特別支援学校，社会福祉施設の現場で教師に必要なことを理解する。 ※「教育実習実施資格判定」における基準に到達する。
3年次	前期	○教育の実際を理解する。 ○保育内容、各教科・領域等の具体的指導法を理解する。 ○教育についての深い洞察力を身につける。	○教育の実際を理解する。 ○各教科・領域等の具体的指導法を理解する。
	後期	○教育の実際を理解する。 ○各教科・領域等の具体的指導法を理解する。 ○教育についての深い洞察力を身につける。	○教育の実際を理解する。 ○各教科・領域等の具体的指導法を理解する。
4年次	前期	○教育についての深い洞察力と論文構成力を身につける。 ○教育についての創造力と問題解決力を身につける。	○自身の専攻する専門領域についての深い洞察力と論文構成力を身につけ、自身の教育観を確立する。 ○自身の専攻する専門領域についての創造力と問題解決力を身につける。
	後期	○教育についての深い洞察力と論文構成力を身につけ、自身の教育観を確立する。 ○教育についての創造力と問題解決力を身につける。 ○教員としての総合的知識・技能・態度を身につける。	○自身の専攻する専門領域についての深い洞察力と論文構成力を身につけ、自身の教育観を確立する。 ○自身の専攻する専門領域についての創造力と問題解決力を身につける。 ○教員としての総合的知識・技能・態度を身につける。

〔大学院〕

履修年次		全専攻
年次	時期	
1年次	前期	○各専攻に係る幅広い領域について認識を深めると同時に、研究手法を身につける。 ○各校種における学校教育を含めた専門領域について、より深い洞察力を身につける。
	後期	○各専攻に係る幅広い領域について認識を深めると同時に、研究手法を身につける。 ○各校種における学校教育を含めた専門領域について、より深い洞察力を身につける。
2年次	前期	○各専攻に係る幅広い領域について、より深い洞察力と論文構成力を身につける。
	後期	○各専攻に係る幅広い領域について、より深い洞察力と論文構成力を身につけ、自身の教育観を確立する。

1）教員免許状取得課程履修希望者の学生には、毎学期の履修科目登録時にポータルサイトにて「希望資格登録」にて取得希望の教員免許状（校種・教科）の登録および修正を行わせ、「教職実践演習」ポートフォリオへの入力画面に反映させています。また、登録された情報は、各学部と共有して履修指導に活かすとともに、開講準備の基礎情報として活用しています。

2）教職関連科目の履修にあたっては、年度初めに行う全学の「教職課程履修ガイダンス」に加え、学生支援担当主任（教員）を主とする各学部教員が履修ガイダンス時に教職課程に関する情報を発信し、学生の関心を高められるよう指導するとともに、学生支援課が窓口となり教職支援課と相互協力のうえ相談を行っています。

3）教育実習実施前年度には「教育実習ガイダンス」を実施し、教育実習の手続きや実習に係る履修の流れ、教育実習実施資格判定科目を軸に学習計画を立てるように指導を行っています。また、教育実習実施の際には、ゼミ担当教員もしくは実習指導講師が実習校への訪問指導を行い、学習支援に関わると同時に、受入先の状況や今後の動向等について、実習校の教職員と情報交換を行い、今後の学生指導に活用しています。

〔通信教育課程〕

通信教育課程では、各段階における到達目標に沿い、履修指導を行っています。

〔学部〕

履修年次		幼稚園・小学校・特別支援学校	中学校・高等学校
年次	時期		
1年次	通年	○仏教精神に基づく人間観を身につける。 ○大学での学修の基礎スキルと卒業（後）までの見通しをもつ。 ○教育学の基礎と教養を身につける。 ○教育の理念や歴史等を身につける。 ○各教科・領域等の指導理論と指導法を理解する。 ○児童理解（生徒指導）、教育相談及び進路指導の理論および方法を理解する。	○仏教精神に基づく人間観を身につける。 ○大学での学修の基礎スキルと卒業（後）までの見通しをもつ。 ○中学校・高等学校の各教科内容を理解する。
2年次	通年	○教職の意義および教員の役割・職務内容を理解する。 ○教育の基礎理論を理解する。 ○各教科内容を理解する。	○教育の理念や歴史等を身につける。 ○中学校・高等学校の各教科内容を理解する。 ○中学校・高等学校の教育課程を理解する。 ○教職の意義および教員の役割・職務内容を理解す

2 年次	通年	○教育学の基礎を身につける。 ○幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教育課程を理解する。 ○保育内容・各教科・領域等の指導理論と指導法を理解する。 ○幼児理解、教育相談の理論および方法を理解する。 ○児童理解（生徒指導）、教育相談及び進路指導の理論および方法を理解する。 ○介護等体験の意義と役割および理論と実践を理解する。 ○特別支援学校，社会福祉施設の現場で教師に必要なことを理解する。 ○特別支援に係る基礎理論と指導法を理解する。 ○特別支援教育領域を理解する。 ○幼稚園・小学校・特別支援学校の各教育の実際を理解する。 ○各教科・領域等の具体的指導法を理解する。 ※「教育実習実施資格判定」における基準に到達する。	る。 ○教育の基礎理論を理解する。 ○各教科・領域等の指導理論と指導法を理解する。 ○生徒指導、教育相談及び進路指導の理論および方法を理解する。 ○介護等体験の意義と役割および理論と実践を理解する。 ○中学校・高等学校の各教育の実際を理解する。 ○特別支援学校，社会福祉施設の現場で教師に必要なことを理解する。 ※「教育実習実施資格判定」における基準に到達する。
3 年次	通年	○教育についての深い洞察力を身につける。 ○幼稚園・小学校・特別支援学校の各教育の実際を理解する。 ○保育内容・各教科・領域等の具体的指導法を理解する。	○中学校・高等学校の各教育の実際を理解する。 ○各教科・領域等の具体的指導法を理解する。
4 年次	通年	○教育についての深い洞察力と論文構成力を身につけ、自身の教育観を確立する。 ○教育についての創造力と問題解決力を身につける。 ○教員としての総合的知識・技能・態度を身につける。	○自身の専攻する専門領域についての創造力と問題解決力を身につける。 ○自身の専攻する専門領域についての深い洞察力と論文構成力を身につけ、自身の教育観を確立する。 ○教員としての総合的知識・技能・態度を身につける。

〔大学院〕

履修年次		全専攻
年次	時期	
1 年次	通年	○各専攻に係る幅広い領域について認識を深めると同時に、研究手法を身につける。 ○各校種における学校教育を含めた専門領域について、より深い洞察力を身につける。
2 年次	通年	○各校種における学校教育を含めた専門領域について、より深い洞察力と論文構成力を身につけ、自身の教育観を確立する。

年度ごとや毎月発行の刊行物（補助教材）、インターネット学習支援システム、大学ホームページ等で履修指導を行っています。学習に係わる相談がある場合、学習相談員による面談や質問票による相談対応を実施しています。

また、実習・体験前には「事前学習」の授業において『しおり』・『実習簿』等を活用し、履修・手続きに係わる内容についても指導を行っています。

教職関連科目の修得に係わる主な履修指導は、教育実習実施資格判定科目を軸に学習計画を立てるように指導を行っています。

（2）教職課程の履修指導以外での組織的・計画的取組

通学課程では、教職を志す学生を各学部学科において把握し、学生の教職に係わる段階的な取組状況や指導に役立てる仕組みを築き、全学体制でサポートにあたっている。

通信教育課程では、教職を志す学生を対象に学習会の開催等全学体制でサポートにあたっている。

さらにキャリア教育の一環として、教職支援センターの実習指導講師・教育学部の教員が初等中等教育における実践力を身に付け、教員としての資質の向上を目指すことを目的に、「教員養成講座」等を開講している。講座は演習・講義形式で主に次の５つについて体験し相互評価しながら自己の資質の向上をはかる内容としている。

①学習指導と学級経営

②学級担任の仕事の内容

③生徒指導上の問題

④教育上の諸問題への対応

⑤教員採用試験に向けて願書作成・面接・指導案作り・模擬授業・場面指導等

また、教職を志す学生個々の相談には、教職支援センターの実習指導講師や学部学科の教員、事務職員とで情報共有や連携をはかり、教職協働で全学的にサポート体制を取っている。